



## 「なだらかな幼小連携に期待するもの」

ひかりのこつうしん 11月号に引き続き、交野市主催の幼小連携研修会のお話からです。

講師の東大阪大学学長の吉岡先生は、「小1プロブレム」を出来るだけでなくためには、「幼稚園と小学校がお互いの活動を理解すること、『年長児の今』を知ってもらう機会を積極的に作る必要がある、なだらかな幼小連携を目指してほしい。」と話を結ばれました。

幼稚園児が小学校を訪れ「小学校ってこんなところ」を知る機会は今までもありました。そのひとつが年長組の倉治小学生のリレー見学です。地面を蹴って、バトンを繋ぐ真剣な小学生のリレーに子ども達の目はくぎ付けです。気づいたことをすぐに話し合い、翌日からのリレーに取り入れ子ども達の走り方が激変し、小学校にあこがれの気持ちを持つきっかけのひとつになっています。

今年度リレー見学に行った際、倉治小学校の恒松校長先生が「ひかりの子幼稚園からはたくさん子どもさんが入学されますね。少しでも仲良くなれたらと思いますので、年長組のクラスに絵本の読み聞かせに行ってもいいですか？」と申し出て下さいました。

この機会は読み聞かせだけでなく、校長先生に「ひかりの子幼稚園はこんなところで、子ども達はこんな風に学んでいます。」と園のことを知ってもらう幼小連携の絶好のチャンスだと思いました。

どんな形で校長先生にお話するのが良いか、担任に相談しました。初めての取り組みのため戸惑いながらでしたが、『子ども達が幼稚園の生活を振り返り、神さまの守りの中でたくさんの人に愛されてきて大きくなったことに気づき、勇気と自信を持って小学校に入学してほしい』という願いを込めて、この取り組み(=子ども達によるプレゼン)を始めることになりました。

### こひつじ1組：3年間を振り返って

～できなかったことができるようになり、こんなに変わったこと  
(成長したこと)がわかった！～

#### こうさぎ組

「ママとバイバイするのがいやで毎日泣いてた」  
「門のところから1人で行くのはドキドキした」  
「お姉さんパンツになってトイレでできるようになった」  
「困っていても自分から先生に言えなかった」

#### こばと組

「クラス替えのときドキドキした」  
「帽子、名札の色が変わって嬉しかった」  
「畑のおいもでスイートポテトを作った」  
「おへやのゲームが難しくなった」



恒松校長先生

#### こひつじ組

「ページェントの役決めの話し合いをたくさんした」  
「クリスマス会はドキドキした」  
「困ったことがあったら自分で解決できるようになった」  
「こりす・こうさぎさんのお手伝いができるようになった」



野地岡教頭先生

## こひつじ 2 組：～ひかりの子幼稚園のすてきなところ～

- ① ほとんどの先生が優しいこと～約束を守ってくれる、わからない事を教えてくれる
- ② たくさん遊べること～遊びの中でいろいろな発見があった
- ③ 考える時間があること～考えるといろんなことを知ることができた
- ④ いろんな事をみんなで決められること～相手の気持ちがわかるようになる  
楽しもうと思う気持ちが出てくる
- ⑤ 出来ないことが出来るようになること～けん玉、縄跳び、将棋、かるた、ラキューなど
- ⑥ イエス様がうまれたことをページェントにして伝えることができること  
～たくさんの人にイエスさまのことが伝わり、世界が変わると思う

## こひつじ 3 組：～1 年間の活動を振り返って～

- ① お味噌づくり～「発酵したお味噌は納豆のにおいがした」「できたお味噌で作ったお味噌汁、お味噌のおにぎりはおいしかった」
- ② 「みのりまつり」のお店屋さんでこひつじ組がお手伝いできて楽しかった
- ③ 用務の人が育ててくれた大根はゴミ袋から飛び出すくらい大きかった
- ④ クラスのみんなの「すてき」を見つけて「すてきな木」を作った
- ⑤ 園にはおもちゃがたくさんあり、お部屋移動をして他のクラスのお友達とも自由に遊べた

話し合いの回数を重ねるごとに子ども達は、自分の成長や気持ちを語りだすようになりました。子ども達が語る言葉には「ひかりの子が大切にしている保育方針」や「育てたい子ども像である保育目標」がちりばめられていました。そのことを写真、文字や絵で表し、校長先生に伝えるための新聞(資料)を作り、校長先生をお迎えしました。そして当日は嬉しいことに野地岡教頭先生もお越しくださいました。

### 【校長先生の感想】

「今日礼拝から参加させてもらいました。阪神大震災の被災者のために自分たちができることを考えたり、お祈りを一緒にして心がなんだか優しくなりました。こういう時間は本当に大事ですね」

「幼稚園のことはほとんど知りませんでしたが、たくさんの遊びや活動をしていることを初めて知りました。こういう生活をしている皆さんが 4 月から小学校に来るのですね。入学してすぐは戸惑って当たり前ですね。そのことを感じ、知ることができ今回幼稚園にきて本当に良かったです。」と感想を言われました。

帰り際、校長先生は子ども達に「めっちゃいい幼稚園やね！！私も通いたくなっちゃった！！」「じゃ、ここで働いたらどう？！」と子ども達から勧められる場面もあり大笑い。みんなと名残惜しそうにバイバイしてお帰りになられました。

今回幼稚園のこと・『子ども達の今』を校長先生や教頭先生に知って頂きました。是非、小学校の先生方と共有して下さり、保育方針の違う環境の元で育った新1年生の子ども達が、4月に入学してくることをご理解いただきたいと思いました。又、3学期に入り進学先の小学校の先生方と年長組担任で、子ども達の引継ぎが順次行われています。その折には自園の特色(保育理念)を「クラスだより」や「ひかりのこつうしん」で丁寧に伝えていきます。園や子ども達の理解を通して、入学した新1年生が安心して学校生活を送れるように小学校が柔軟な対応をして下さり、「なだらかな幼小連携」に繋がっていくことを願ってやみません。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、皆さまの健康を心よりお祈りしています。

園長 松本 直子